

【講師プロフィール】

■ 森田 太郎 (もりた たろう)

合同会社 WONDER BASE 代表取締役社長
有限会社ブルーコーナー 海外事業部長
カリブの学港 舟長



■ 経歴

東京都出身。静岡県立大学にて国際政治および東ヨーロッパの国際関係を専攻。

在学中よりボスニア・ヘルツェゴビナに渡航し、サッカーを通じた民族融和の実践・研究に取り組む。その成果により「秋野豊賞」を受賞。

現地では「サラエヴォ・フットボール・プロジェクト」代表として、民族融和を目的とした少年サッカークラブ「クリロ(翼)」を設立。その活動は朝日新聞連載「人」をはじめ、多くのメディアで紹介される。

■ 教育現場での実績

東京都公立小学校教諭として13年間勤務(主幹教諭)。子ども一人ひとりの興味・関心を起点とした学びを大切に、学級経営・授業実践の両面で経験を積む。

■ 現在の活動

現在は教育と社会をつなぐ実践者として、以下の活動を行っている。

- ・ 合同会社 WONDER BASE 代表として、体験型・探究型学習プログラムを企画・運営
- ・ 有限会社ブルーコーナー海外事業部長として、水族館・研究機関との国際連携を推進
- ・ カリブの学港 舟長として、リアル体験とオンラインを融合した学びの場づくりを統括

2026年4月より、カリブの学港における学習体験設計責任者として、すべての教育コンテンツの設計を担う。

■ 専門・研究分野

海洋生物を中心に、生物に関する調査研究を継続。水族館関係者や研究者、水産業に関わる専門家と連携し、現場に根ざした学びの開発に取り組んでいる。

■ 著書

『サッカーが越えた民族の壁——サラエヴォに灯る希望の光』(明石書店)

■ メッセージ

これまで学校現場で子どもたちと向き合ってきた経験と、社会・世界での実践の両方を通して感じることがあります。それは、子どもが「なぜだろう」と思った瞬間にこそ、学びが始まるということです。知識を教えるだけでなく、子ども自身が問いを持ち、考え、行動する力を育むことの大切さを、今日の授業を通して一緒に考えていきたいと思っております。